

りできるための住居(シェルター)「ハピネス  
ハウス」を2022年に開設しました。なぜこの  
ような場所が必要なのか、社会的養護で育つ  
子ども達の支援に詳しい佛教大学の准教授・  
長瀬正子氏のほか、京都市ユースサービス協  
会のユースワーカー・竹田明子氏にご登壇いた  
だき、困難を抱える少女たちの支援の現状と  
課題を考えます。

## お申込み

ご参加いただける方の人数把握のため、  
原則申し込み制とさせていただきます。  
左記のQRコード、もしくはイベント特設  
ページよりお申込みください。formsに  
回答いただいたメールアドレスに、後日  
接続URLをお送りします。



↑申し込みはこちらから

イベント特設ページ  
<https://chance1205get.wixsite.com/happinessevent>

# 困難を抱える 少女たちのSOSに 応えるために

2/7 (火) 19:30-21:00  
オンライン(zoom)開催・参加費無料

お問い合わせ

Mail : [happiness.kyoto.info@gmail.com](mailto:happiness.kyoto.info@gmail.com)

TEL : 050-5218-9179 NPO 法人 happiness

## 登壇者



長瀬 正子

佛教大学社会福祉学部准教授

社会的養護で育つ子どもや若者の権利を保障するための理念や方法について研究。児童養護施設で育った若者が立ち上げたCVV (Children's Views and Voices) の運営を担い当事者の声に多くを学ぶ。現在は社会的養護の当事者参画をすすめるIFC(International Foster Care Alliance)にもかかわる。日本社会に子どもの権利の視点を広める子どもの権利・きもちプロジェクト代表。著作に『きかせてあなたのきもち～子どもの権利ってしてる?』(ひだまり舎、2021年)など。



竹田 明子

京都市ユースサービス協会  
チーフユースワーカー

若者の生活圏である地域や高校の中で若者の場づくりを実践中。また若者にかかわるユースワーカー養成を日本各地で取り組んでいる。中高生の学習支援や社会的養護を経験した若者との出会いから、家族との関係性や制度の狭間で困難を抱える若者たちに出逢ってきた。"ときどき帰れるまちの居場所"や、他機関とともに日々若者といっしょに少し先を考えられる関係性の必要性を感じながら現場に臨んでいる。



宇野 明香

NPO 法人 happiness 理事長・  
里親

実子2人と里子2人の4人を共働きで子育て真っ最中。2016年にボランティア団体ハピネスを立ち上げ、以来子どもの居場所づくりの支援や母子世帯支援、就労支援の受け入れなど、できることからやってみるで邁進中。



糠塚 歩里

NPO 法人 happiness 理事

一般企業で会社員として働きながら、2020年より子ども食堂をはじめとするhappinessの居場所事業に参画。少女たちが「寂しいときのよりどころ」として思い浮かべられる空間作りを目指して活動中。

NPO 法人 happinessでは、少女のための一時宿泊施設「ハピネスハウス」の運営資金調達のため、クラウドファンディングを始めます。ハウスの運営資金の寄付にご協力ください！(イベント終了後にページの閲覧が可能です)



↑詳細はこちらから

<https://syncable.biz/campaign/4173>